

夜越山西側エリアのトイレ問題、このままでいいの？

田中大通信

令和6年10月28日号 後援会刊 関係資料



夜越山のトイレ問題、このままでいいの？



縄文・平安の遺跡発掘
平内に新たな歴史的発見
大栗山遺跡(松の木) 大沢遺跡(東田沢・白砂)

高校生海外フィールドワークチャレンジ2024
社会福祉協議会 平内町在住の高校生が選出!!
ホタテの町 平内を救え!
実は超多忙で多くの事業を手がけていた!!
平内町を信じて支えている社会福祉協議会

帆立貝高水温被害対策を学ぶ

一般質問

※一部抜粋

トイレ整備は重要である

(田中大) 観光地のトイレ整備は訪問満足度や再訪問意欲を高め、地域のイメージ向上にも寄与します。夜越山森林公園第4駐車場のトイレが解体され、ウォーキングやグラウンドゴルフを楽しむ方々にも不便が生じています。

財政負担を抑えるため、仮設バリアフリートイレや電気の供給ができれば使用可能なバイオトイレの設置を検討していただけないでしょうか。

整備するつもりはない

(町長答弁) 夜越山森林公園第4駐車場のトイレは老朽化や利用者減少により解体されました。新設には建設費や維持管理費、犯罪リスクなどの課題がありますが、トイレ整備は観光地での快適な環境づくりに重要だと理解します。しかし前述のようリスクがあるため、整備をすることは考えていません。

チャットGPTの活用を

(田中大) チャットGPTは、対話型AIとして業務効率化や住民サービスの向上に寄与しています。自治体でも導入が進み、職員の負担軽減や住民の利便性向上が期待されています。

AIの活用により、効率的な業務処理が可能となり、職員は専門的業務に集中できます。専門的業務に活用や研修の進め方について検討が必要ではないでしょうか。

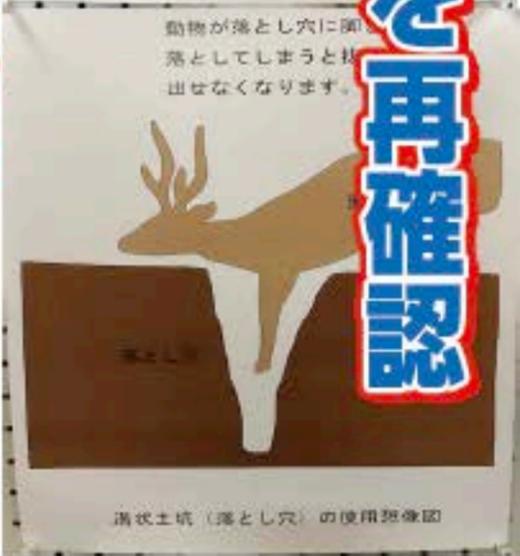
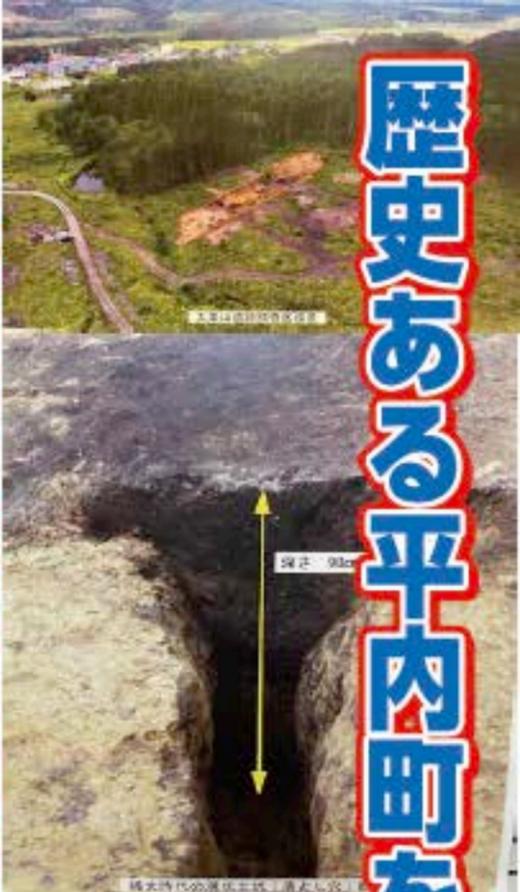
検討する

(町長答弁) 我が町では令和5年1月から公式LINEを導入し、現在約540名が登録しています。自動応答システムを使い、24時間対応で情報発信や問い合わせ対応を行い、住民サービスと業務効率化を推進しています。また、チャットGPTなど生成AIの活用も検討中で、DX推進組織を立ち上げ、今後は他市町村の事例を参考に規則を整備しながら導入を検討していきます。



弘前市のよさこいチーム「花嵐桜組」は、札幌市で開催されたよさこいソーラン祭りの、40人以下で演舞する68チームのなかで、大賞に輝きました。演舞のテーマは、なんと、高水温被害で打撃を受けた平内町の漁師への「激励」だそうです。心からお祝い申し上げますとともに、感謝申し上げます。

歴史ある平内町を再確認



大栗山遺跡(松野木)
縄文時代の落とし穴と考えられる溝状土坑が見つかったことから、この場所は狩猟場だったと考えられます。

大沢遺跡(東田沢・白砂)

平安時代の製塩土器等が発掘されました。この地域では製塩が盛んだったと考えられます。

社会福祉協議会

社会福祉協議会の事業数の多さには、驚くばかりです。よく知られているものとしては、シルバー人材センター、老人クラブ連合会事務局、居宅介護支援、社協の湯っこなどありますが、その他にも様々な事業を展開しており、大小24もの事業を行っているそうです。



今後も社協に関する知見を深め、町民の皆様からの相談にお応えできるように努めてまいりますので、福祉、介護等でお困りごとがございましたら、気軽に声を掛けください。

この度、日光院において、「永代供養合葬墓」(お墓参りを容易にできない人、お墓の後継者がいない人に代わり、神

日光院「永代供養合葬墓」及び「ペット墓」

社が責任をもって永代供養と管理をするお墓)と、いまや家族同様となったペットのための「ペット墓」を建立されました。

どちらも、時代の要請に応えたものと思っております。竣工、おめでとございます。



清水川上流(大和山) 雑木伐採工事着工中

宗教法人松緑神道大和山の陳情を受け、境内を縦断する雑木の伐採を県にお願いしたところ、この度、実現の運びとなりました。着工前写真のとおり、以前は雑木がひどく生い茂っており、豪雨には災害になりかねない状況にありました。

伐採後は、見違えるほどすっきりいたしました。災害未然防止に関する取組は、最優先事項です。



航空自衛隊東北町分屯基地視察

7月30日、開庁30周年を迎えた航空自衛隊東北町分屯基地を視察させていただきました。同基地は、6月7日に東北町と共存共栄に関する包括連携協定を締結したそうです。第17代荒木亮太基地司令との懇談、基地内見学、隊員食堂での昼食を経験させていただきました。同基地が東北町と一心同体となり、相互連携を図っておられることを学んできました。



町内高校生が中心となり、海外へ



宮下知事の新事業「高校生海外フイールワークチャレンジ2024」は、本県の高校生が将来、世界を舞台に活躍するグローバル人材に育つよう、県が高校生に海外体験にかかる費用(上限520万円)を支援するものです。応募36チーム中6チームが対象に選ばれましたが、その中で最高の評価を受けた青森東高校の中心メンバーは平内在住。テーマは平内の生徒らしく「持続可能なホタテ養殖とブルーエコノミー」。

自衛隊と町の連携には、正直驚きました。隊員は除雪ボランティア、祭りへの参加なども行っておりました。また、海自といえればカレールが有名ですが、航空自衛隊では、空に掛けて唐揚げ、空揚げ、が名物のようです。

10月にアメリカ・シアトルに渡航とのことですので、思いっきり学んできてほしいですね。我が町としても、教育政策の充実に努める必要があると思っております。